

## 優秀賞

気山小学校5年

 深川幸希さん

●研究テーマ

## 久々子湖で見られた野鳥たち

## 動機

三方五湖には毎年のように多くの鳥が飛来する。三方五湖はラムサール条約にも登録されており、多くの鳥が飛来することで、その環境との関係について関心を持ったため。

## 内容

- 1年間で確認された鳥は28科91種であった。
- カモ調査を行い、種類ごとの初飛来日を確認後、月に4回ほど個体数をカウントした。また、湖のどの部分で過ごすのか種類ごとに調べた。
- 3年前から宇波西川河口の砂浜と湖横の水田を中心にシギチドリの飛来する場所を調査した。
- 多くの鳥が集まる宇波西川河口の砂浜を観察ポイントにして、1年間調査した。エサを食べることを目的に飛来する鳥が多かったため、生き物調査を行った。

## まとめや感想

- カモの個体数は春の渡りの時期が多かった。
- 鳥の過ごす場所は種類ごとにある程度決まっていた。
- 近年水田に来るシギチドリは減ったが、別の場所で過ごしていることがわかった。
- 河口の砂浜には鳥のエサとなる生き物が多いことがわかった。

## 優秀賞

武生南小学校6年

 大柳 遥さん

●研究テーマ

## ジャガイモの研究パート3 ～ジャガイモはどんな土が好き？～

## 動機

これまでジャガイモの研究として、日光などの条件を変えた栽培や光合成などを調べてきた。そこで次は、おいしいジャガイモが育つ土の条件を調べてみることにした。

## 内容

排水性、保水性、PHなど性質が異なる5種類の土での栽培のほか、植え付け時期や収穫までの日数を変えた栽培などで、収穫できるジャガイモの数や大きさ、デンプン量などの違いを調べた。

その結果、排水性や保水性が高く、弱酸性で団粒が多い土であると、ジャガイモの収穫量が多くなることが分かった。

また、デンプン量の多いおいしいジャガイモを育てるためには、植え付け時期を低い気温の3月上旬とし、収穫時期は出芽後100日後とすることがよいことが分かった。

## まとめや感想

おいしいジャガイモが育つ土とは、①弱酸性の土であること、②植え付け時期は3月上旬とし、収穫までできる限り低い地温を維持すること、③収穫時期は出芽後100日後であることが分かった。おいしいイモを作るため、いろいろな条件を設定し育てる中で、興味がさらにわいてきてとても楽しくなっていた。今後、ジャガイモに関する研究をさらに深めていきたい。